

等の工業地帯と異なり、私達の生命を直接おびやかすような目に見えない害が発生していないという点に大きな原因があると思います。しかし、今更いうまでもなく、公害は決して私達から遠い所にあるものではありません。

その最も身近な例の一つに、霞ヶ浦の汚染があります。最近の各新聞にも取上げられておりますが、私達が子供の頃は泳いだり舟遊びをしたりした湖が、今や魚も住めない死の水と化しつつあります。それにまた、釣の名所であった桜川の汚れ方も実にひどいものです。

このままでは、二、三年の内に釣も出来ないどぶ川になることは目に見えております。更に、私達に身近かな公害は、交通問題です。増え続ける自動車は町中の道路を埋め尽くし、排気ガスをまき散らしております。そして子供達は遊び場を奪われ、健全な精神と肉体の発達を阻害されつつあります。年々五百万台以上の自動車が、この狭い日本で生産されている以上、例えばバイパスなどを作っても、ほんの一時しのぎの解決にしかならないでしう。

ため、是非とも私達の手で市民運動を起す必要があると思えます。自然が破壊され、健康が蝕まれ、多くの子供が交通事故の犠牲になつてからでは遅すぎるのではないでしうか。

そこで、私達は仮の発起人となり、「土浦の自然を守る会」の結成を提案したいと思います。そして、当面取り組むべき問題として、次のことを提起したいと考えております。それは、桜川堤の自然公園化です。現在の桜川の堤防から一切の自動車を締め出し、これを歩行者と自転車、釣り人などに解放するのです。こうすることによつて、桜川は勤め帰りの人々の絶好の散策の場となり、また広場に飢えた子供達も思いきり走り回ることができるよう。都会から来た釣り人は騒音から解放され、また健康家は、自動車におびやかされることなくサイクリング、ピクニックを楽しむことができるでしう。

無論、このような計画は、あくまでも提案であつて、決定された目的ではありません。もっと緊急に解決すべ